ロボット関連技術PRカード

1．企業概要

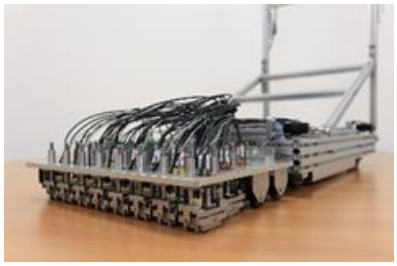
会社名	株式会社ウィズソル			代表者名	外輪　純久		
				窓口担当	永田　博幸		
事業内容	非破壊検査、熱処理工事、検査装置開発			U R L	http://www.withsol.co.jp/		
主要製品	非破壊検査技術サービス、各種プラント設備、製品タンク、配管等の検査装置開発						
所在地	〒733-0035　広島県広島市西区南観音 6 丁目 2 番 13 号						
電話／FAX 番号	082-291-2500／082-291-2515			E-mail	nagata@withsol.co.jp		
資本金（百万円）	30	設立年月	1961 年 2 月	売上（百万円）	6,310	従業員数	446

2．PR事項

『 最新の非破壊検査技術で、産業インフラの長寿命化に挑戦! 』

石油・化学プラントの原油タンクや配管の腐食減肉検査において、様々な検査装置を顧客ニーズにあわせ独自に開発し、その多くはプラントメンテナンスの保守検査等で実用化されています。作業効率の向上、工程短縮、コスト削減に貢献する検査装置です。

タンク底板連続板厚測定装置(UDT-48)

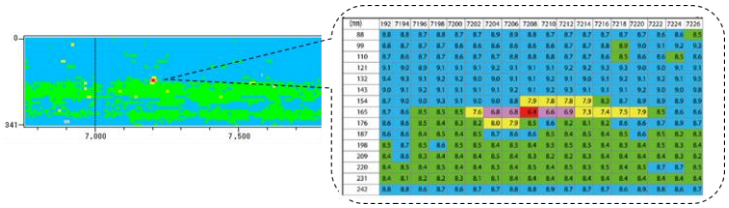


危険物保安技術協会の性能評価認定を取得した超音波連続板厚測定装置です。1回の走行で約 360mm 幅の測定が可能で、高密度、高速検査、高能率で減肉状況を正確に把握します。検査結果は数値表示とカラーマッピングにより、視覚的な判断が可能です。

超音波連続板厚測定装置(UDP-32)

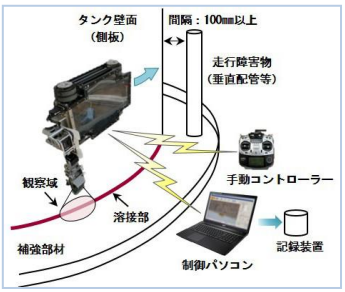
大径配管、タンク側板等の裏面腐食を検査する超音波連続板厚測定装置です。モーター駆動で走行し、無線通信で離れた場所から板厚測定可能です。1回の走行で最大 340mm 幅板厚を測定します。

■カラーマッピング表示例

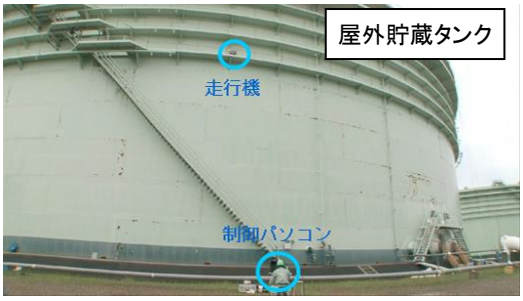


目視ロボット(i-ROBO)

タンク側板の補強部材の溶接部近傍や、各種鋼構造物の外観検査用自走ロボットです。地上からの遠隔操作により壁面を自動走行し、垂直配管等の障害物も回避します。



無線通信で地上のパソコンにデータ送信、モニターにて画像確認し記録保存します。



3．特記事項　（得意技術以外に PR したい事項　例：特許情報、応用分野、表彰・認定）

- 「ラインセンサ式配管 RT 装置(ラインスキャナ)」の開発により、石油・化学プラントの配管設備を対象に保温配管の保温材を解体せずに減肉状況をスクリーニングする検査手法を展開中です。
- 平成 29 年 4 月 「関西エックス線株式会社」から「株式会社ウィズソル」に社名変更しました。
- **外観検査用自走ロボット技術を活かしロボット関連事業における検査業務の高度化をサポートします。**

無断転載不可